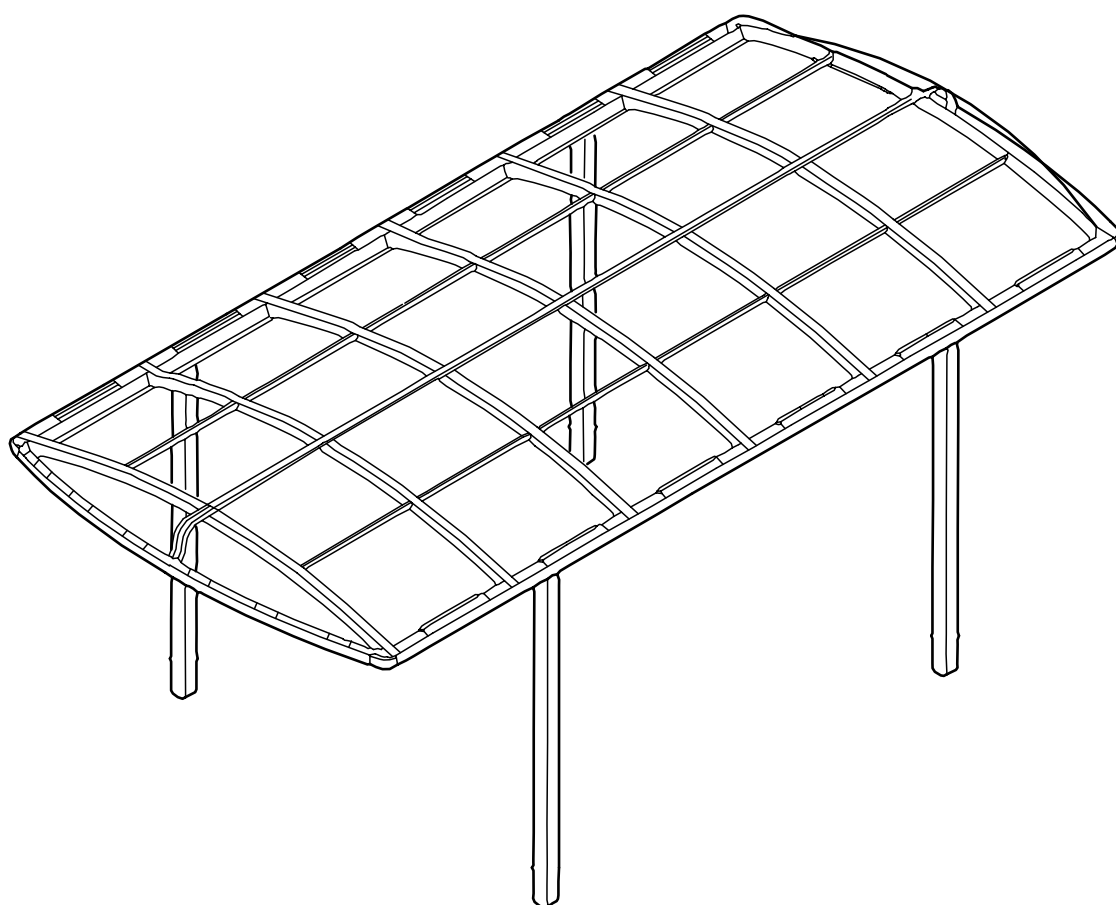


リードポート 2 型

取 付 説 明 書



C O N T E N T S

目 次

施工上のご注意	1
施工の前に(梱包確認表)	2
(梱包明細表)	3
基本タイプ	4
縦連棟タイプ	13

- ◆このたびは、東洋エクステリア製品をお買いあげいただき、まことにありがとうございます。
- ◆正しく安全な施工、組付／組立をしていただくために、必ず取付説明書をお読みください。

施工上のご注意

■安全な施工を行なうために、次のことを必ず実行してください。

- 施工時は、軍手・安全靴・ヘルメットなどを身に付けて、ケガをしないように保護してから施工を始めてください。
- 部材が重量物の場合、運搬・取付作業は2人以上で行なってください。(ケガのおそれがあります。)

■設置場所の確認

- 施工場所に寸法的に正しくおさまるか確認してください。
- 主屋の屋根からの雪の落下を直接受けない位置かどうか確認してください。(カーポート)
- 施工場所の気象条件(風、雪など)に合った商品かどうか確認してください。
- 強風地域、特に崖上、屋上、風の通り道上などの施工は避けてください。

■規格表、梱包明細で必要な部材、部品がそろっているか確認してください。

■組立、施工途中では

- ボルト、ビスは弊社純正品の規定本数を確実に締め付け固定してください。
- 取付説明書の順序どおりに組付けてください。手順を違えますと製品の強度など、性能を低下させる場合があります。
- アルミ製品が亜鉛、ステンレス以外の金属と接触する場合は、絶縁処理をしてください。
- 表面にキズをつけた場合、腐食の原因となりますので補修塗料で補修してください。
- 腐食のおそれのある接着剤や化学製品を使用する場合は、製品と接触しないようにしていただくか、接触する部分を完全に養生してください。

■基礎工事について

- 基礎部の埋め込み深さは製品ごとに決めてありますが、現場によって(堅牢な地盤、軟弱な地盤など)基礎部のコンクリートの量(体積)を十分配慮してください。
- 塩分を含む砂は使用を避けてください。腐食の原因となります。やむをえず使用する場合は、十分水洗いしたものを使用してください。
- コンクリート(またはモルタル)には、急結剤は使用しないでください。使用しますとアルミが腐食する原因となります。
- モルタルやコンクリートの抽出液が、工事中に製品に付着しないように注意してください。抽出液は強アルカリ性で、シミやムラなどの外観不良や腐食の原因となります。
- 製品の表面に付着したモルタルやコンクリートなどは速やかに拭き取ってください。

■製品の改造は絶対にしないでください。

■組立完成後はボルト、ビスなどにゆるみがないか確認してください。

■施工終了後、取扱説明書を施主様にお渡しください。

施工の前に

梱包確認表

それぞれお買い上げの型式のセット梱包数をご確認ください。

■基本タイプ

梱包名称		員数			
		27-51型	30-51型	27-59型	30-59型
桁・中骨セット	51型用	1	1	—	—
	59型用	—	—	1	1
前後桁セット	27型用	1	—	1	—
	30型用	—	1	—	1
中間アーチセット	27型用(5本入)	1	—	—	—
	30型用(5本入)	—	1	—	—
	27型用(6本入)	—	—	1	—
	30型用(6本入)	—	—	—	1
部品セット	51型用	1	1	—	—
	59型用	—	—	1	1
柱セット		2	2	3	3
屋根材(アクリル)セット	27型用(6枚入)	2	—	2	—
	30型用(6枚入)	—	2	—	2
	27型用(2枚入)	—	—	1	—
	30型用(2枚入)	—	—	—	1
前後屋根材(アクリル)セット	27型用(左右各2枚入)	1	—	1	—
	30型用(左右各2枚入)	—	1	—	1
梱包数		9	9	11	11

■縦連棟タイプ

梱包名称		員数			
		27-51・51型	30-51・51型	27-59・59型	30-59・59型
桁・中骨セット	51型用	2	2	—	—
	59型用	—	—	2	2
前後桁セット	27型用	1	—	1	—
	30型用	—	1	—	1
中間アーチセット	27型用(1本入)	1	—	1	—
	30型用(1本入)	—	1	—	1
	27型用(5本入)	2	—	—	—
	30型用(5本入)	—	2	—	—
	27型用(6本入)	—	—	2	—
	30型用(6本入)	—	—	—	2
部品セット	51型用	1	1	—	—
	59型用	—	—	1	1
縦連棟用部品セット	51型用	1	1	—	—
	59型用	—	—	1	1
柱セット		4	4	6	6
屋根材(アクリル)セット	27型用(6枚入)	4	—	4	—
	30型用(6枚入)	—	4	—	4
	27型用(2枚入)	—	—	2	—
	30型用(2枚入)	—	—	—	2
前後屋根材(アクリル)セット	27型用(左右各2枚入)	1	—	1	—
	30型用(左右各2枚入)	—	1	—	1
梱包数		17	17	21	21

梱包明細表

※柱は標準柱(L=2503), ロング柱(L=3003)の2仕様があります。
(選択)

■柱セット

名 称	員 数
※ 柱	2
取扱説明書	1

■桁・中骨セット

名 称	員 数	
	51型	59型
桁	左右各 1	左右各 1
中骨	1	1
サブ中骨 L=778mm	12	14
屋根材押え L=400mm	12	14
グレチャン L=795mm	12	14
縦樋 L=4000mm 丸樋	2	2
雨樋パッキン	2	2
雨樋アタッチメント	2	2
ドレンエルボ (φ40)	2	2
雨樋でんでん	6	6
92°エルボ (φ40)	4	4
接着剤	1	1
φ4×14トラスタッピン (3種)	10	10

■部品セット

名 称	員 数	
	51型	59型
柱取付金具	4	5
中間アーチベロ部品	14	16
サブ中骨固定部品	24	28
アンカー棒 φ9	4	6
φ4×14ナベタッピン(3種)	95	101
φ4×35ナベタッピン(1種)	23	26
φ6×14ナベタッピン(3種)	16	24
M4ナイロン座金	5	6
M8×16六角ボルト	8	12
M8平座金	8	12
M8バネ座金	8	12
M8ナット	8	12
コーキング剤	1	1
M5ナイロン座金	6	6
φ5×12ナベタッピング(2種)	6	6
コーナーキャップ	左右各 2	左右各 2
中骨連結部品A	2	2

■中間アーチセット

名 称	員 数		
	1本入り	5本入り	6本入り
中間アーチ	1	5	6
アーチカバー	2	10	12

■前後桁セット

名 称	員 数
中間アーチ(端部)	2
前後桁	2
前後中骨カバー	2
前後中骨	2
前後屋根材押え L=150mm	12
アーチカバー	4
取扱説明書	1

■縦連棟部品セット

名 称	員 数	
	51型	59型
柱取付金具	4	6
中間アーチベロ部品	12	14
サブ中骨固定部品	24	28
中骨連棟キャップ	1	1
アンカー棒 φ9	4	6
φ4×14ナベタッピング(3種)	63	69
φ4×35ナベタッピン(1種)	18	21
φ6×14ナベタッピン(3種)	16	24
M4ナイロン座金	5	6
M8×16六角ボルト	8	12
M8平座金	8	12
M8バネ座金	8	12
M8ナット	8	12
コーキング剤	1	1
縦連棟スリーブA	2	2
縦連棟スリーブB	2	2

■前後屋根材セット

名 称	員 数
左右2枚入り	左右各 2

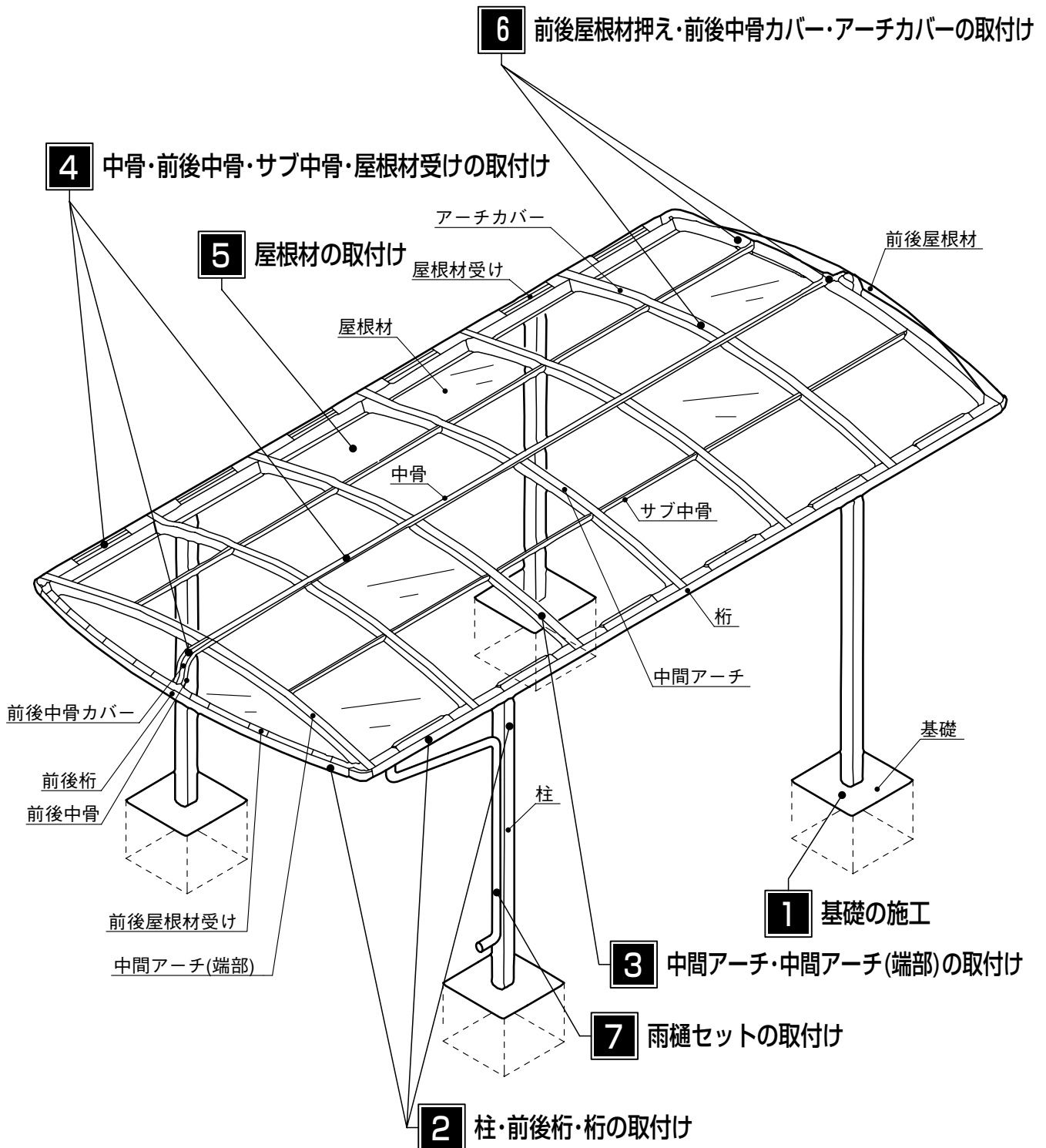
■屋根材セット

名 称	員 数
2枚入り	2
6枚入り	6

基本タイプ

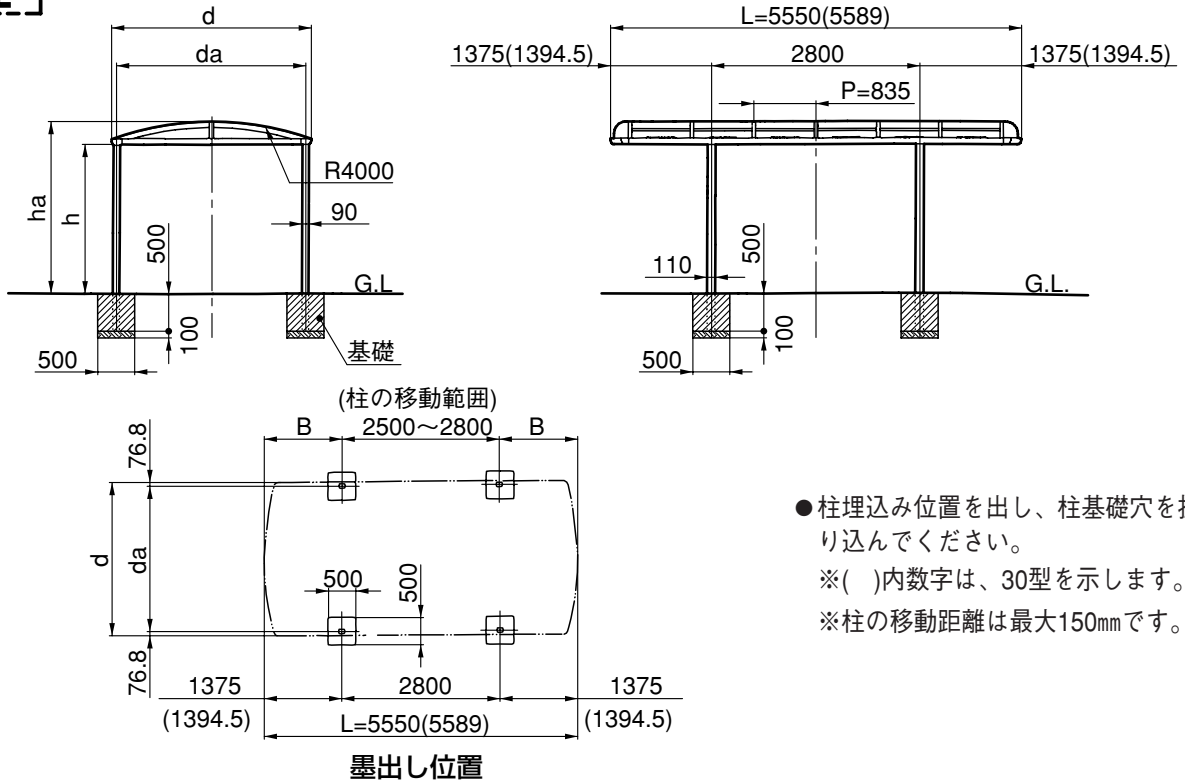
各部の名称と施工手順

①～⑦は、基本タイプ施工手順(7～12ページ)を示しています。

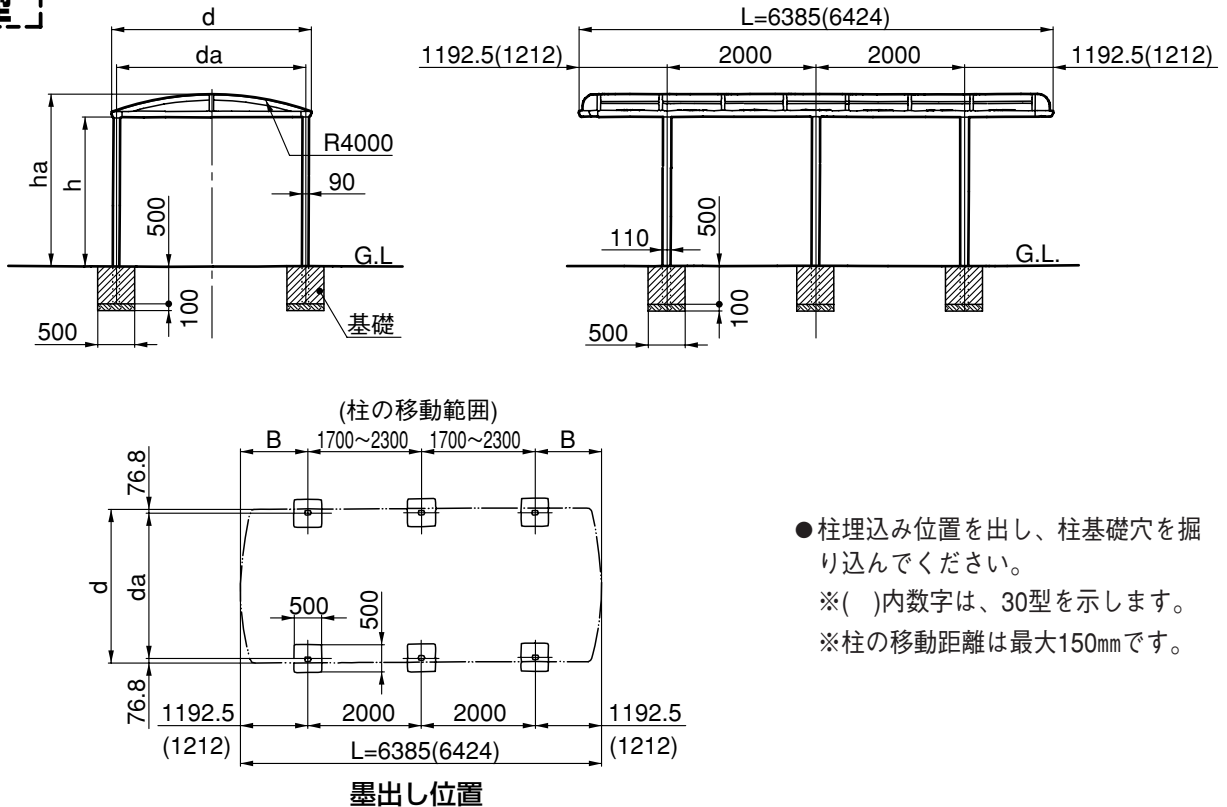


基本寸法

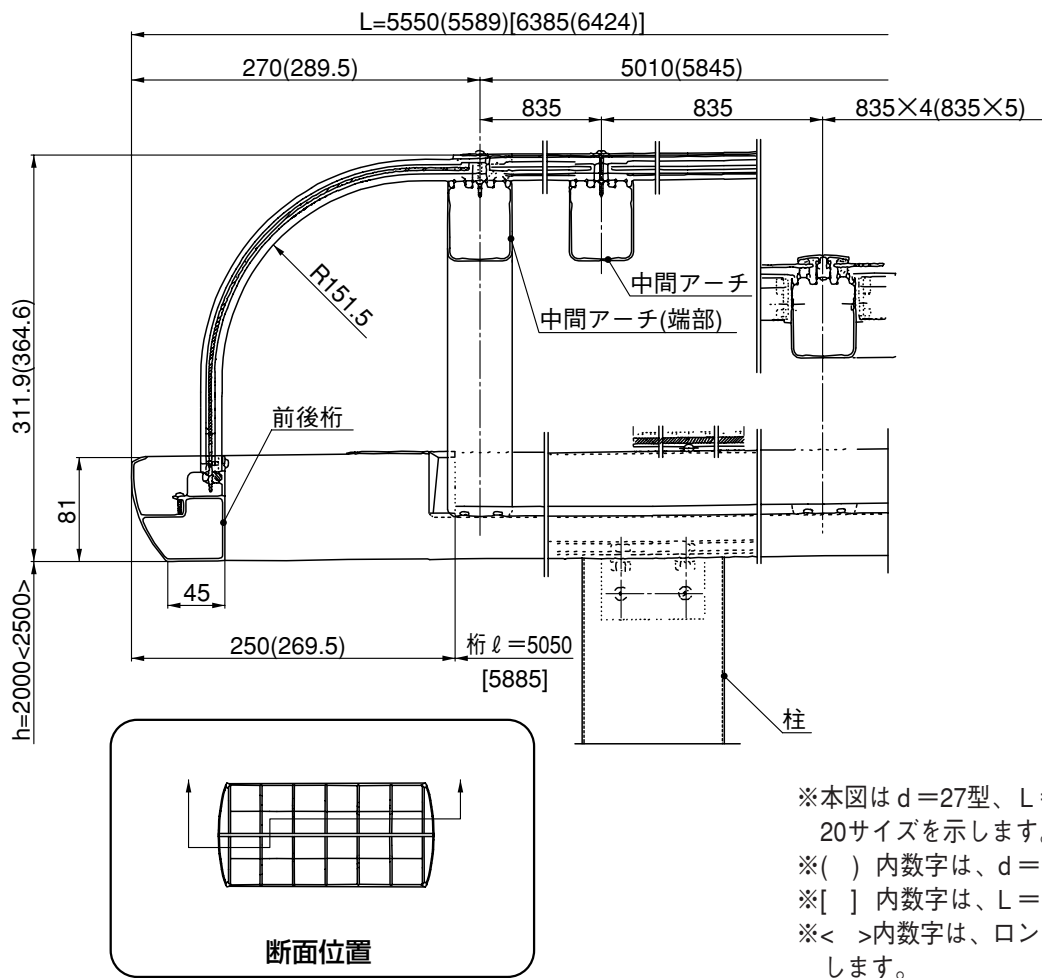
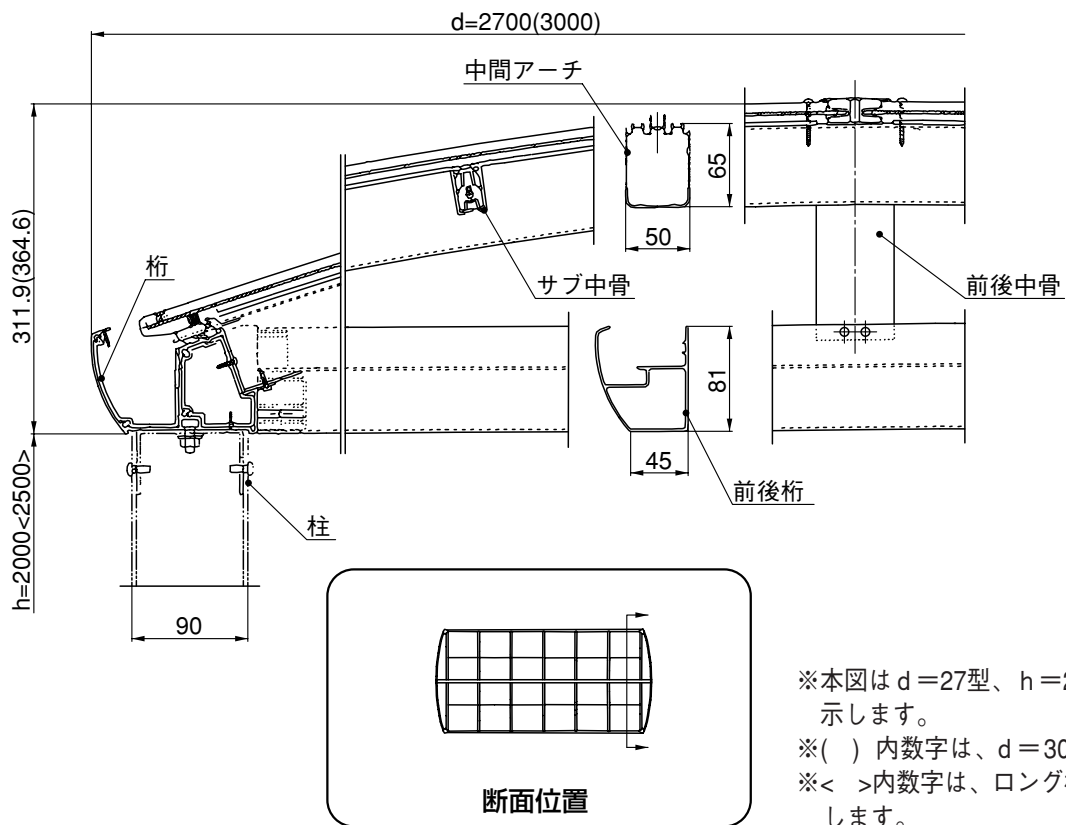
51型



59型

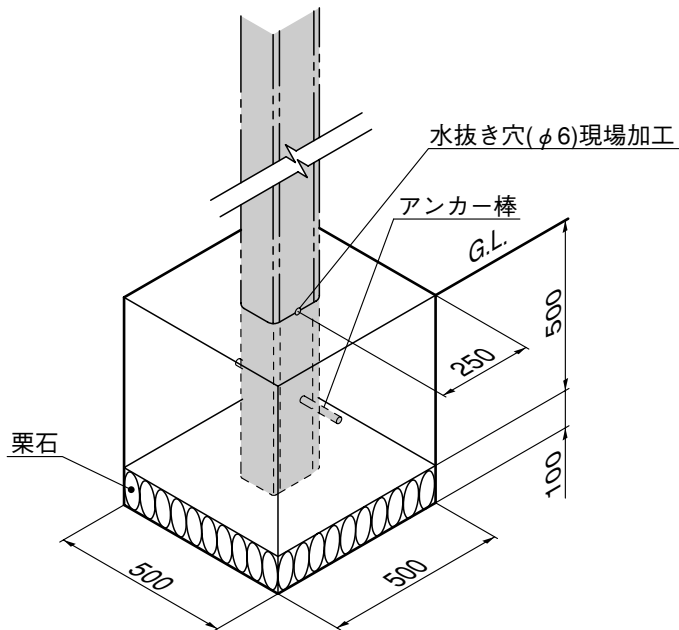


型呼称	51型			59型			呼称	h	ha	
	d	da	B	d	da	B			27	30
27	2700	2546.4	1225~1525	2700	2546.4	1042.5~1342.5	標準 ロング柱	2000	2311.9	2364.6
30	3000	2846.4	1244.5~1544.5	3000	2846.4	1062~1362			2811.9	2864.6



基本タイプ施工手順

1 基礎の施工

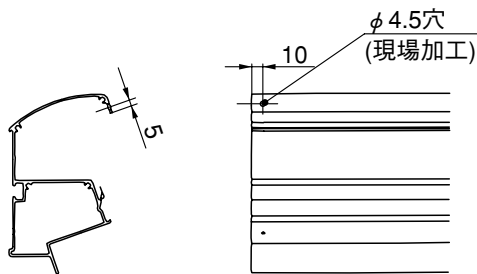


- 1 柱埋込み位置を出し、柱基礎穴を掘り込んでください。

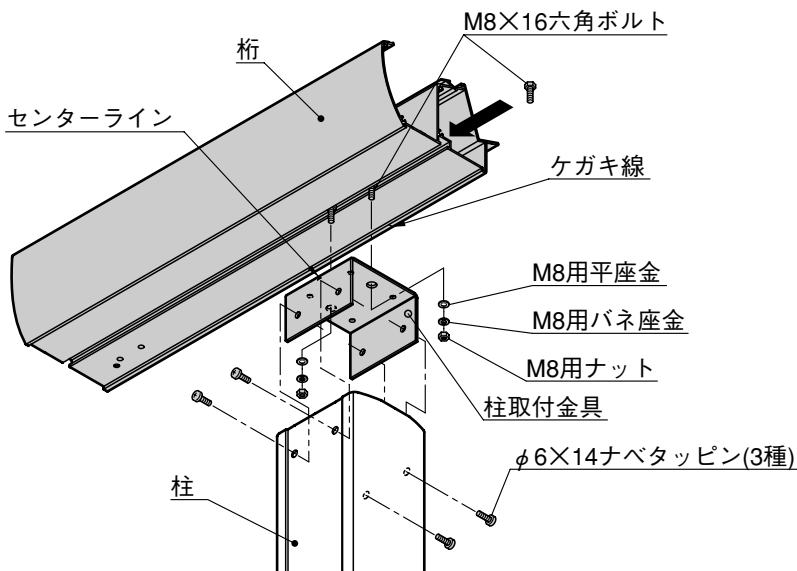
注意

- 取付け現場の状況に応じて屋根の水勾配方向を決定してください。
- 柱の根元には水抜き穴(φ6)を現場にてあけてください。

2 柱・前後桁・桁の取付け

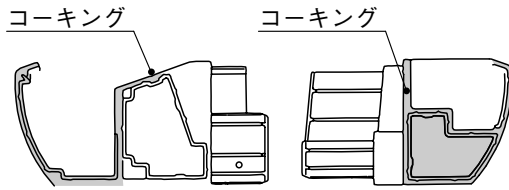


A図:桁加工図



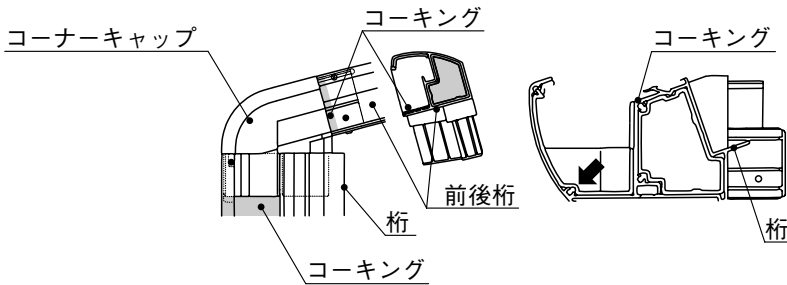
注意

- 桁の水抜き穴は1ヵ所です。あらかじめ雨樋の取付位置を考慮して桁を取付けてください。
- 1 A図に従って桁両端にコーナーキャップ取付け用の穴を加工してください。(現場加工) (縦連棟の場合の連棟部は除く 15ページ参照)
 - 2 桁のボルト溝にM8×16六角ボルトを挿入してください。(柱1本につきボルトは2本です。)
 - 3 桁と柱取付金具をケガキ線に合わせて、M8×16六角ボルトで固定してください。
 - 4 柱と柱取付金具をφ6×14ナベタッピン(3種)で固定してください。



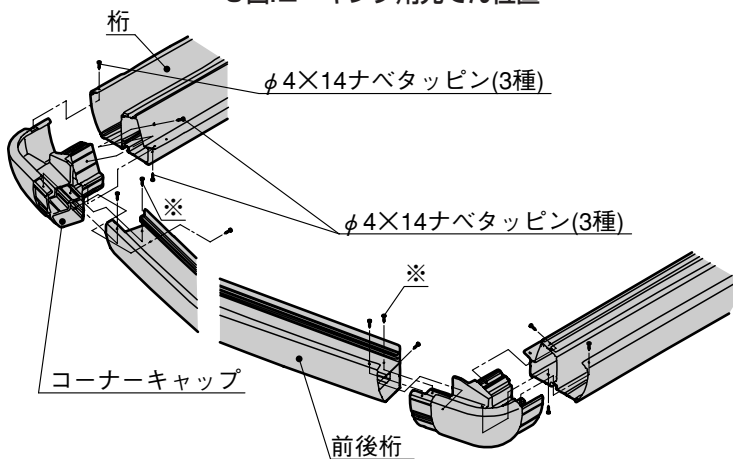
B図:コーナーキャップフィン部コーキング剤充てん位置

- 5 コーナーキャップのフィン部にコーキング剤を充てんし、前後桁、桁の順にφ4×14ナベタッピン(3種)で固定してください。(B図参照)



C図:コーキング剤充てん位置

- 6 C図の位置にコーキング剤を充てんしてください。
 ◀ 印部はタッピングホール内部までしっかりコーキング剤を充てんしてください。

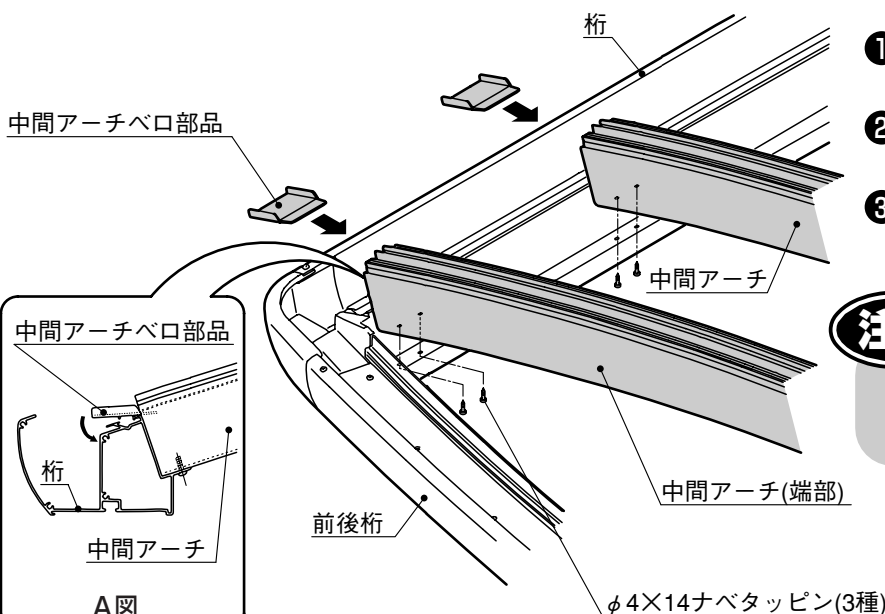


D図

注意

- ※印のネジは加工穴にコーキング剤を充てんした後、ネジ止めしてください。(D図参照)

3 中間アーチの取付け



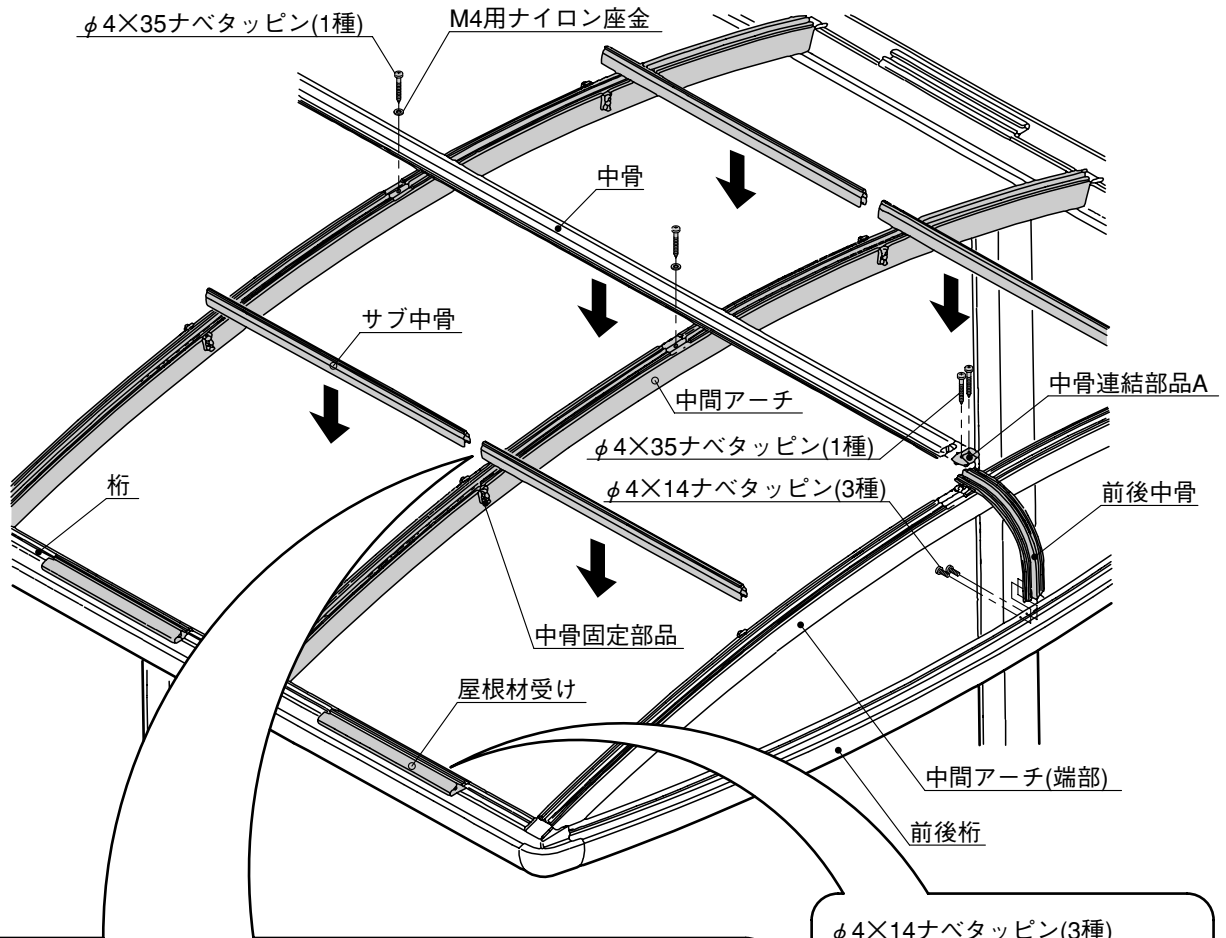
- 1 桁に中間アーチ(端部)をφ4×14ナベタッピン(3種)で取付けてください。
- 2 中間アーチに中間アーチベロ部品を差込んでください。(A図参照)
- 3 屋根の対角、水平および柱の垂直を出してください。

注意

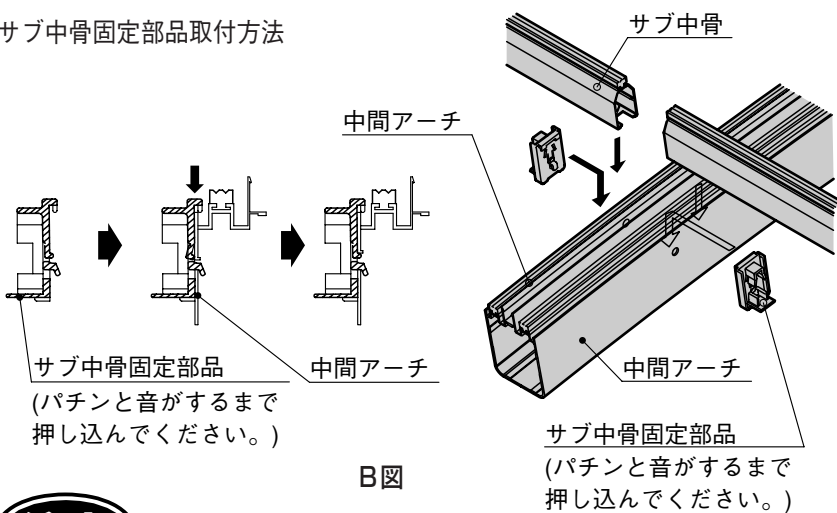
- 対角が出ていないとアクリル板(屋根材)の音鳴りの原因になります。

4 中骨・前後中骨・サブ中骨・屋根材受けの取付け

- ① 前後桁に前後中骨を $\phi 4 \times 14$ ナベタップピン(3種)で取付けてください。
- ② 中骨端部に中骨連結部品Aを差込んで中骨を中間アーチに $\phi 4 \times 35$ ナベタップピン(1種)で取付けてください。



サブ中骨固定部品取付方法

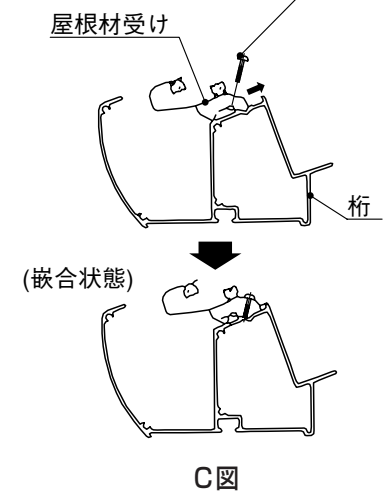


B図

注意

- フィンを引っ掛けて上から落とし込みながら取付けてください。
- サブ中骨固定部品は一度はめ込むと取れません。無理にとると破損しますのでご注意ください。

φ4×14ナベタップピン(3種)



C図

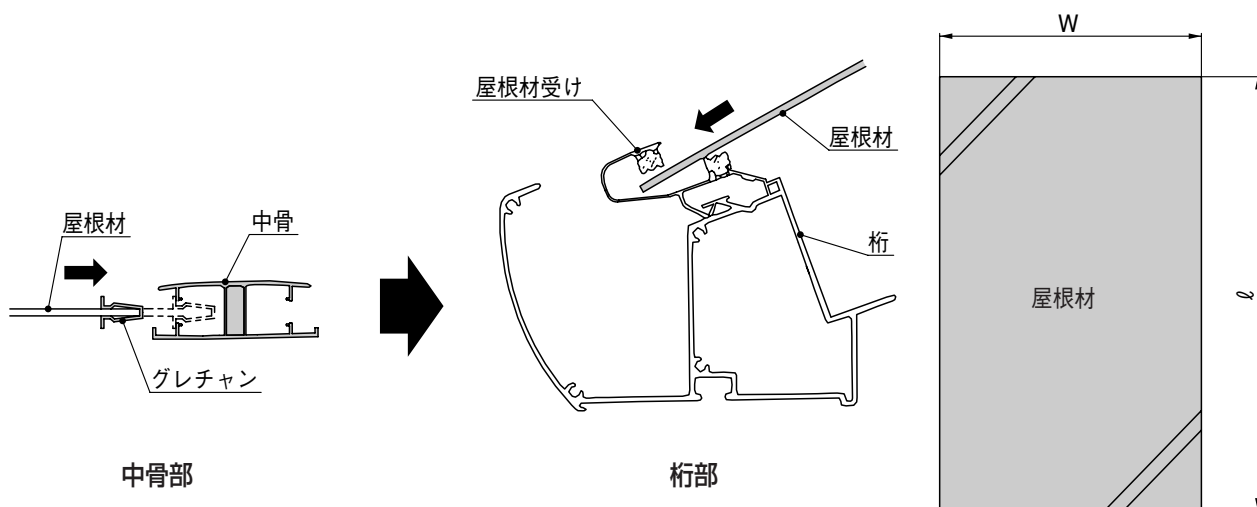
注意

- 桁にきちんと嵌合していることを確認してください。

- ③ サブ中骨固定部品を中間アーチに取付け、サブ中骨を上から取付けてください。(B図参照)
- ④ 屋根材受けを桁に $\phi 4 \times 14$ ナベタップピン(3種)で取付けてください。(C図参照)

5 屋根材の取付け

5-1 中間部屋根材の取付け



- ① 屋根材中骨側端部にグレチャンを取付けてください。
- ② 中骨に水平に差込み、桁側を屋根材受けのすきまに差込んでください。
- ③ 中間アーチの「のみ込み」を左右均等(17mm)にしてください。

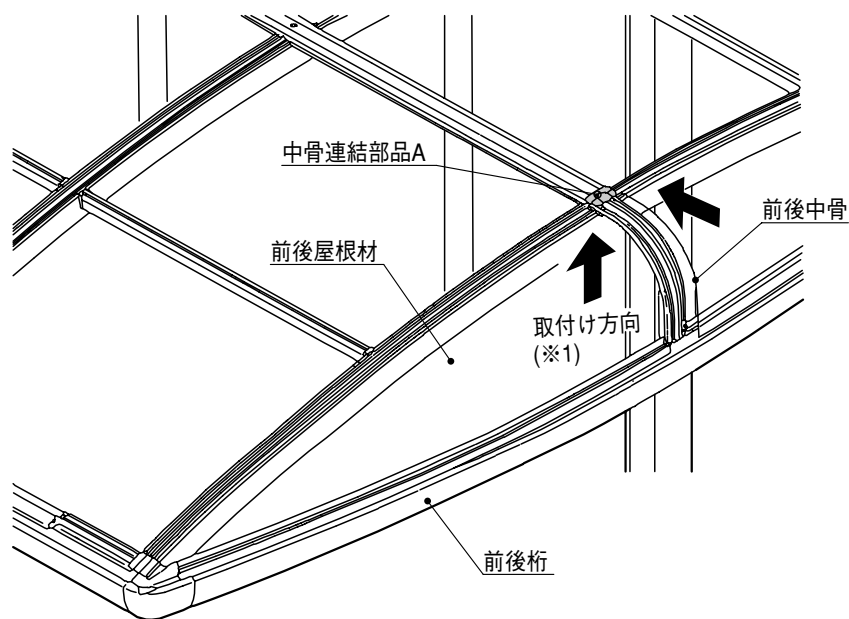
屋根パネル材寸法

型呼称	W	ℓ
27	819	1325
30		1484

注意

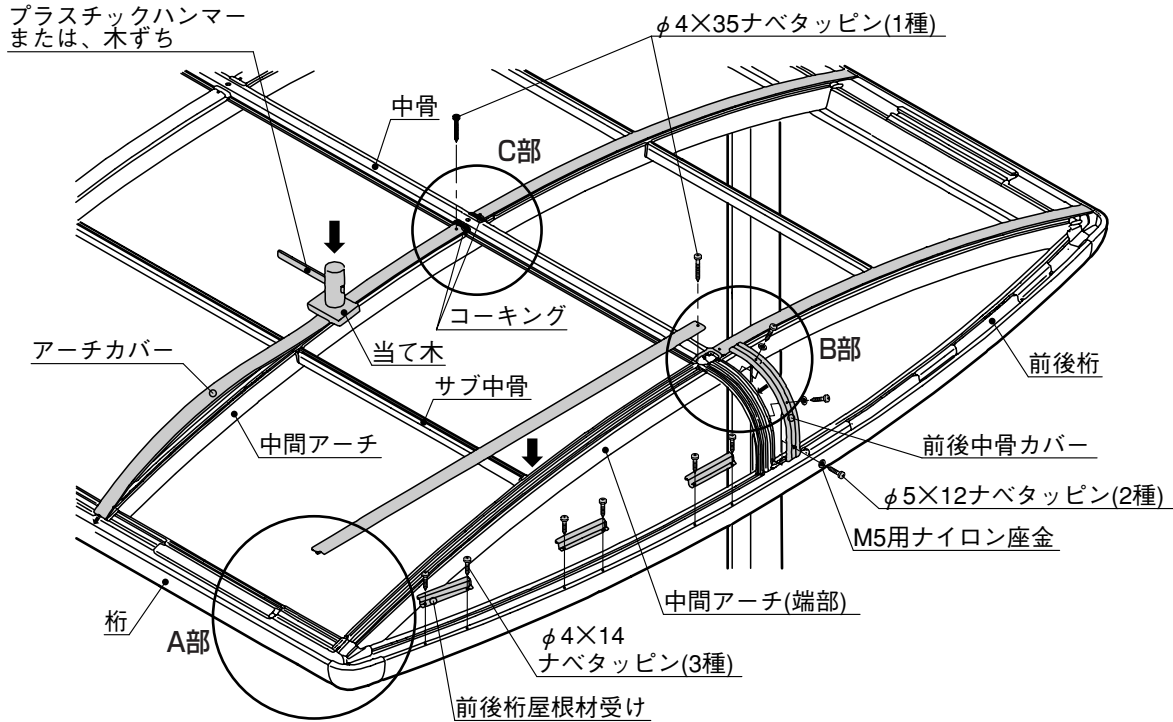
- アクリル板が中間アーチのアルミ部分に当たっていないことを確認して下さい。(音鳴りの原因になります。)

5-2 前後屋根材の取付け

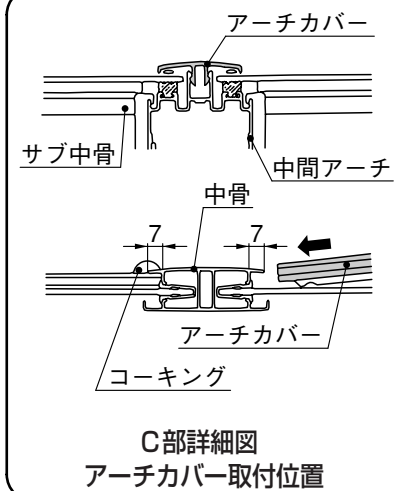
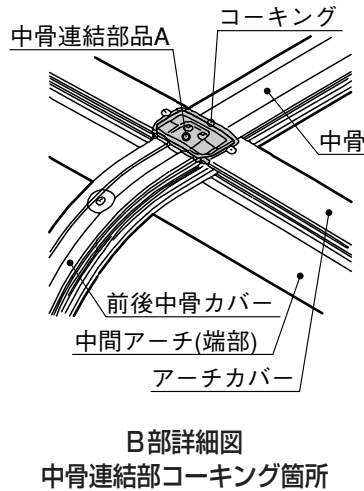
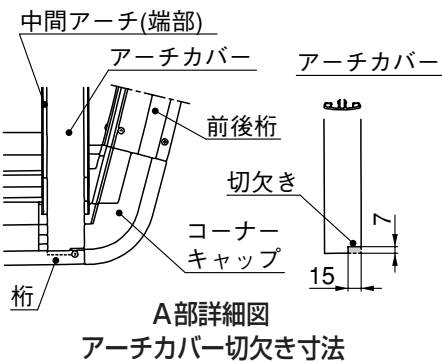


- ① 屋根材端部を中骨連結部品Aに差込み(↑の方向)、前後屋根材をセットしてください。(※1)
(屋根材のみ込み寸法：中間アーチ部 17mm, 前後中骨部 18mmにしてください。)

6 前後屋根材受け・前後中骨カバー・アーチカバーの取付け



中間アーチ(端部)に取付けるアーチカバーは、桁側を下図のように切欠いてください。



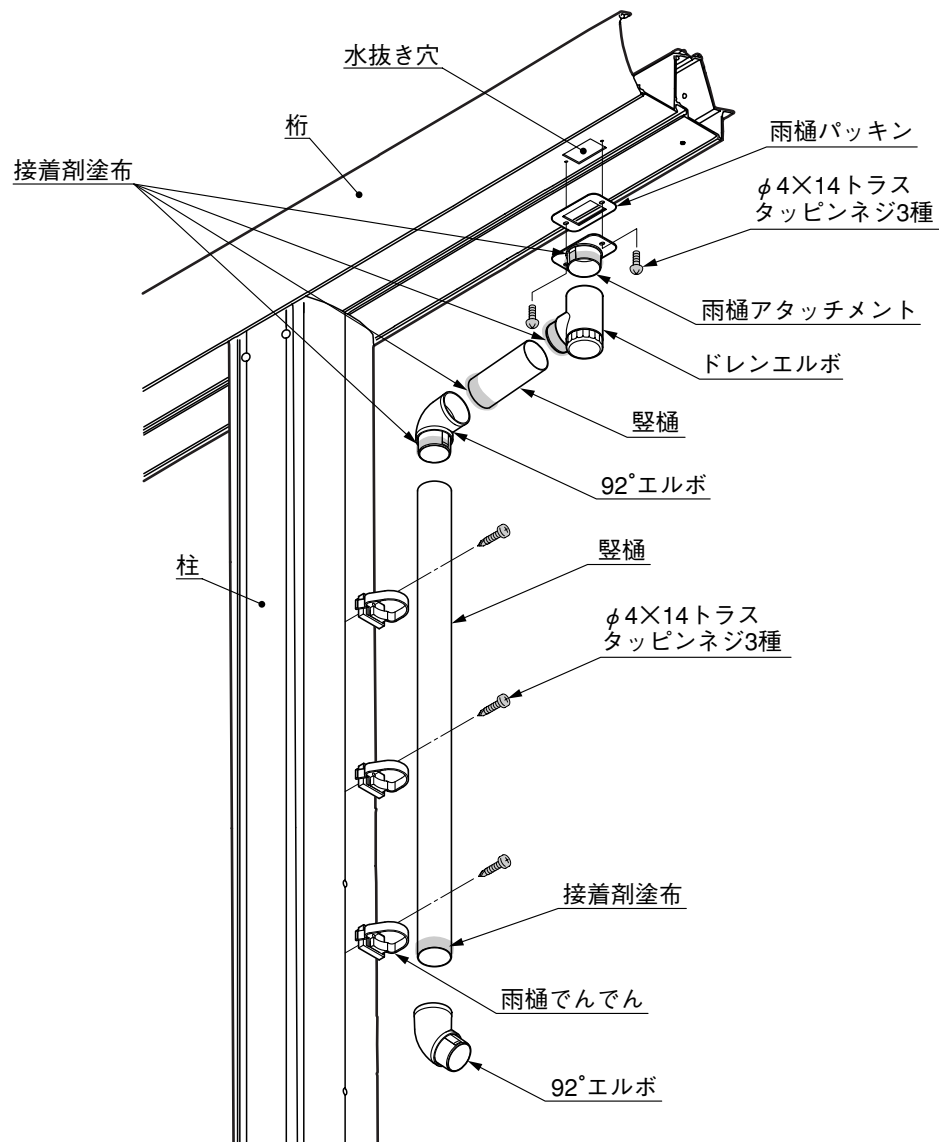
- ① 前後屋根材→中間屋根材の順で屋根材を固定してください。
- ② 前後屋根材受けをφ4×14ナベタッピン(3種)で取付けてください。
- ③ 前後中骨カバーの上端を中骨連結部品Aに差込んで、前後中骨カバーをφ5×12ナベタッピン(2種)で取付けてください。
- ④ アーチカバーの斜めカット側を中骨・中骨連結部品Aのすきまに突き当たるまで差込んでください。
- ⑤ 中骨側から全体の長さの3分の1程たたき込んだ後、桁側を差込んでから全体をたたき込んでアーチカバーを取付けてください。
- ⑥ アーチカバーと中骨のすきま、および中骨連結部品Aのまわりにコーキング剤を充てんしてください。

注意

- 中間アーチ(端部)への取付け時には、前後屋根材の中間アーチ(端部)の「のみ込み」寸法17mmを保持するよう、屋根材を押さえながらアーチカバーをたたき込んでください。
- 必ず形材とアーチカバーのはめ合わせ位置が確認されていることを確認してください。
- 必ず当て木をし、プラスチックハンマーまたは木ずちでたたき込んでください。
- アーチカバーの中央が少しへこむまでたたき込み、確実に取付いたことを確認してください。
- 一度使用したアーチカバーは再度使用できませんのでご注意ください。

7 雨樋セットの取付け

① 桁の底面にある水抜き穴に雨樋セットを取付けてください。



施工後の確認

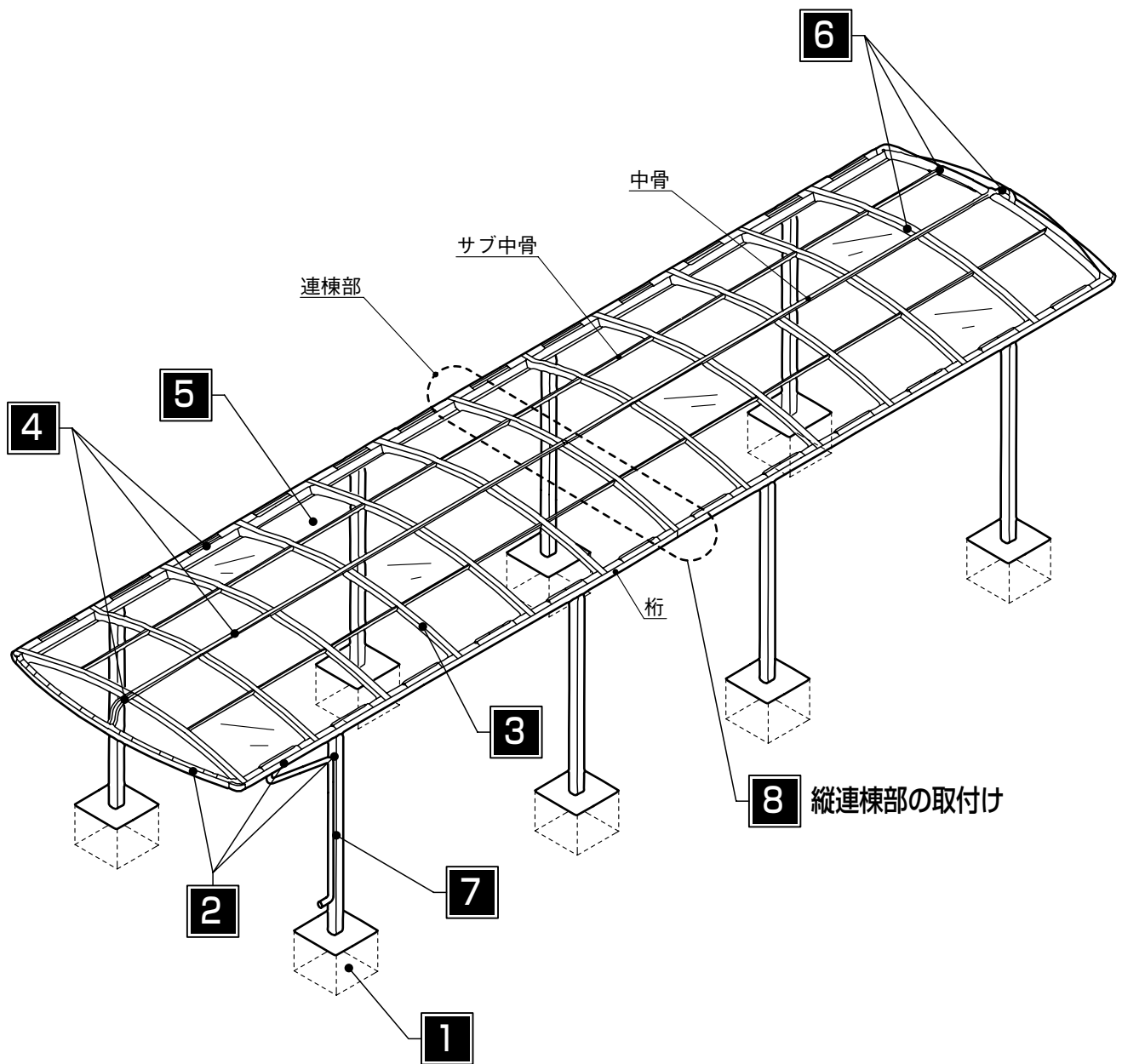
施工終了時または、お客様へお引き渡し前に、下記事項を必ず確認してください。

- ❖ 各部のネジのゆるみがないことを確認してください。
- ❖ 部品が正常な位置に取付けられていることを確認してください。
- ❖ 製品の汚れを取り除いたことを確認してください。

縦連棟タイプ

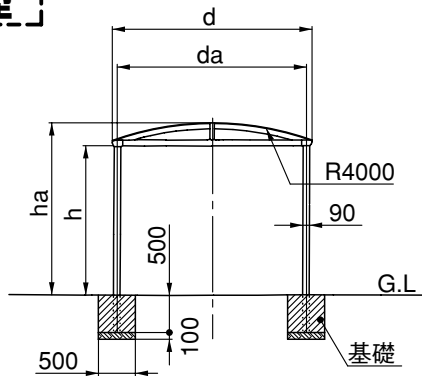
各部の名称と施工手順

❶～❷は、基本タイプ施工手順(7～12ページ)を示しています。



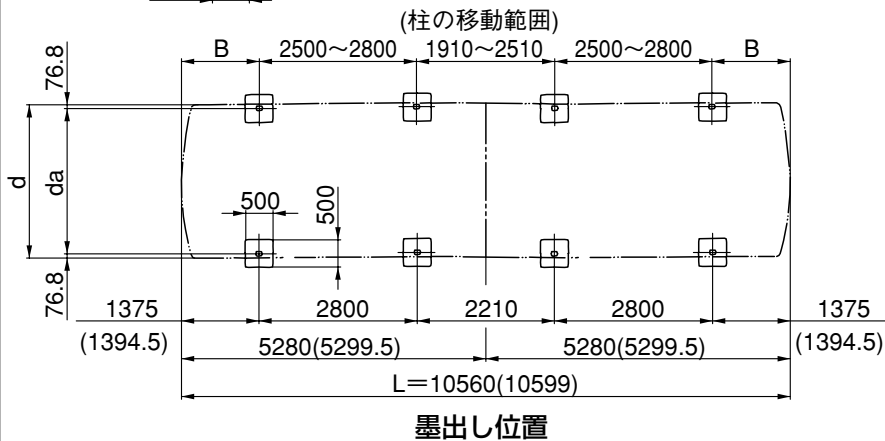
基本寸法

51型

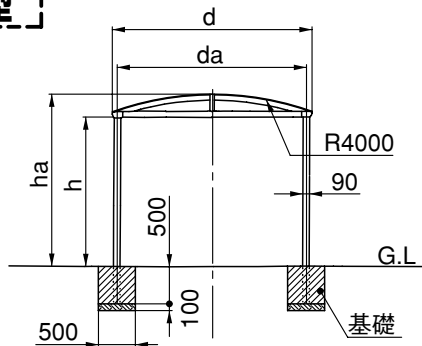


●柱埋込み位置を出し、柱基礎穴を掘り込んで下さい。

※()内数字は、30型を示します。

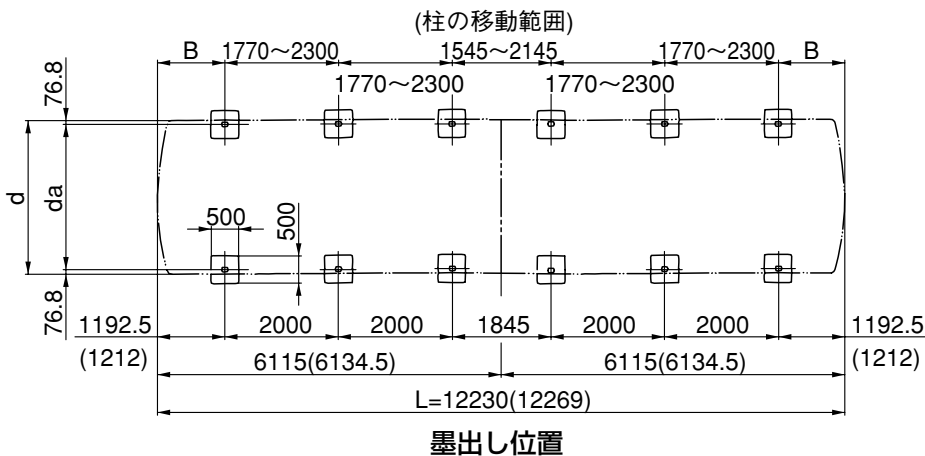


59型



●柱埋込み位置を出し、柱基礎穴を掘り込んで下さい。

※()内数字は、30型を示します。



型呼称	d	da	B	
			51型	59型
27	2700	2546.5	1225~1525	1042.5~1342.5
30	3000	2846.4	1244.5~1544.5	1062~1362

呼称	h	ha	
		27	30
柱	2000	2311.9	2364.6
ロング柱	2500	2811.9	2864.6

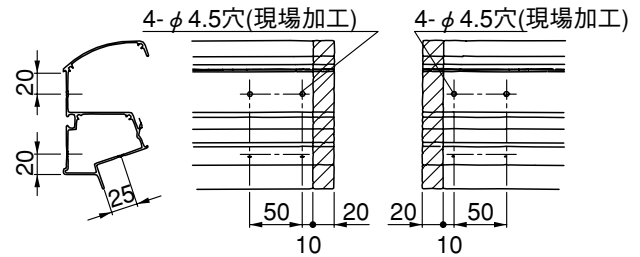
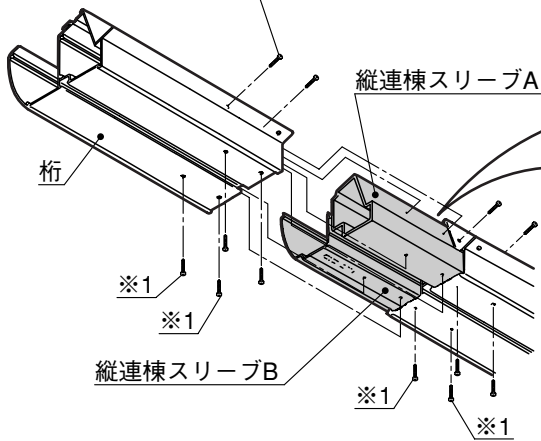
縦連棟タイプ施工手順

①～⑦までは基本タイプと同様です。
(縦連棟以外の取付けは基本タイプを参照してください。)

⑧ 縦連棟部の取付け

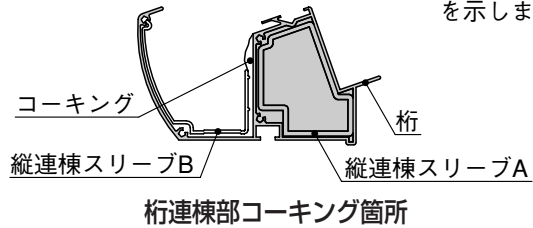
8-1 桁連棟部

φ4×14ナベタッピン(3種)



A図(桁加工図)

※は切断加工を示します。



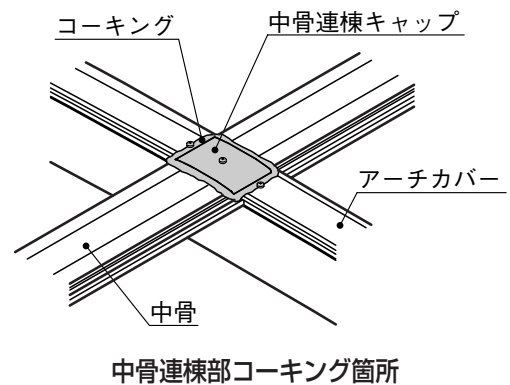
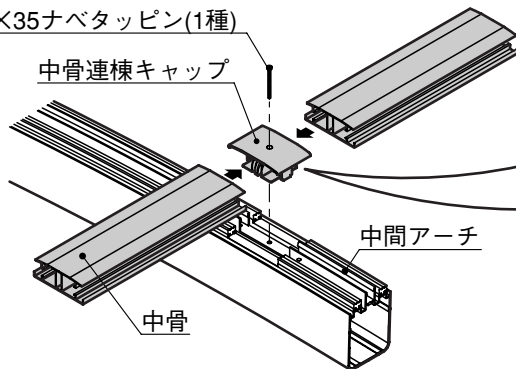
- ① A図に従って桁に穴あけおよび切断加工をしてください。(現場加工)
- ② 桁連棟部にコーキング剤を充てんしてください。
- ③ 縦連棟スリーブA,Bと桁をφ4×14ナベタッピン(3種)で固定してください。

注意

- (※1)4カ所のネジは、加工穴にコーキング剤を充てんした後ネジ止めしてください。

8-2 中骨連棟部

φ4×35ナベタッピン(1種)



- ① 中骨を中骨連棟キャップに差込んで、中間アーチにφ4×35ナベタッピン(1種)で取付けてください。

注意

- 屋根材取付け後、中骨連棟キャップのまわりにコーキング剤を充てんしてください。

『施工後の確認』は、12ページの基本タイプと同様に行なってください。

取説コード

D257

MAF-723B

97-11A

200508B_1001